

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス はないろ

支援プログラム

作成日

令和6 年

11 月

28 日

法人（事業所）理念		「楽しい」がたくさんあふれる、安心できる場所を目指してサービス提供をする。															
支援方針		小集団の中で職員やお友達との関係を築き安心して過ごせるように支援する。 運動遊びや個別課題を通して言語面を含む身体機能の向上、身辺自立の向上に繋げていけるように支援する。															
営業時間		10 時		0 分		から		18 時		0 分		まで		送迎実施の有無		あり	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	健康状態について変化がないかを観察する。 食事、排泄、更衣、荷物整理等の身辺自立に繋がるように支援する。 スケジュール表等の視覚支援やタイマーを取り入れ次に何をするのか見通しを持つことでスムーズな切り替えに繋げていけるように支援する。															
	運動・感覚	集団活動や遊びの中で運動機能、バランス感覚、力の強弱、指先の巧緻性の向上に繋がるよう支援します。 粗大運動（マット、トランポリン、バランスボール等の運動器具を使用したり、走る・投げる・蹴る・受ける等の動きを入れた運動遊び）を行う。 微細運動（座っての課題を行う。ハサミの使用、運筆、粘土・スライム・パズル、ブロック、塗り絵等）を行う。															
	認知・行動	制作活動や外遊びをする中で季節を感じる。 色、形、大きさ、長さ、重さ等の概念の形成を図る。 文字や数字への興味を持てるように支援する。 音楽遊び、ビジョントレーニングを行う。															
	言語 コミュニケーション	一人一人に合わせたコミュニケーション手段を見出し、日常生活を送る中で自分の意思を伝えやすくすることで生き辛さを軽減していけるように支援する。 絵カード等を使って語彙の増加をはかる。小集団での活動や遊びを通してやりとりの練習をする。 運筆や文字の読み書きの課題を行う。楽しみながら取り組めるように課題には一人一人が興味関心のある物を取り入れながら行う。 言葉遊びを行う。															
	人間関係 社会性	家族以外の大人（職員）やお友達と関わる中で関係を築き安心できるように支援する。 一人遊びから共同遊び（ごっこ遊び等）に発展させていけるように大人が介入しながら活動を実施する。 ごっこ遊び等の他者とやりとりする活動を行う。															
家族支援		成長過程での変化についての情報共有を図る。 家庭での困り事や悩みについて相談援助する。										移行支援		事業所で習得した力を就園・就学先の幼稚園・保育園・小学校でも出して いけるように情報共有を図る。			
地域支援・地域連携		担当者会議等に参加し他事業所と支援の方向性の確認・統一を図る。										職員の質の向上		日々の支援の中で起きた事象についての検討や研修の実施。			
主な行事等		お花見、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分等。															